

# ドメスティック・バイオレンス（DV）及び子ども虐待と被害を受けた母子の回復支援に関する研究



看護学科（母性看護学）  
看護学研究科（助産学）

ふじ た けい こ  
藤田 景子

●連絡先 TEL：054-202-2911

**キーワード** ドメスティック・バイオレンス，デートDV，子ども虐待，性暴力被害者支援，子育て支援，女性の健康，助産外来，院内助産

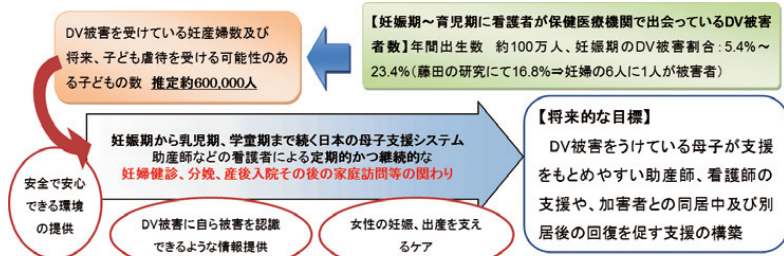
ドメスティック・バイオレンス(DV)とは…身体的な暴力に限らず、馬鹿にされる、無視されるといった精神的な暴力、友人や知人との付き合いを制限されるといった社会的暴力などの暴力を用いて、相手をコントロールすることを言います(パワーアンドコントロール)。

## 【研究着手の背景】

1. DVによる女性への影響：身体的な暴力による怪我にとどまらず、高血圧や糖尿病、心臓血管系の身体的健康障害、睡眠障害や不安、うつ病といった精神的健康障害と関連しています。(Wathen & Macmillan, 2013; WHO, 2013)。
2. DVによる子どもへの影響：子どもの問題行動、多動、不安、学習困難などの比率が著しく高いことが明らかになっています。(Levendosky, Bogat, & Martinez-Torteya, 2013)。また、DVは、子ども虐待にあたり(子ども虐待防止法)、DVのある家庭では、子どもへの虐待発生を70%増加させます(Tajima, 2000)。
3. DVの世代間連鎖という大きな社会問題が潜在化しています。(Fredland, McFarlane, Symes and so on., 2016)。

## 【研究テーマ】

- 1) 思春期からのDV予防啓発(中学・高校におけるデートDV予防教育)に関する研究
- 2) 妊娠～子育て期におけるDV被害者支援のための早期発見支援システムの構築に関する研究
- 3) DV被害を受けた母子の回復を促すプログラムの開発
- 4) 性暴力被害者支援看護師(SANE)の育成および他職種連携支援システム(SART)の構築に関する研究
- 5) 院内助産システム(助産外来・院内助産)の標準化に関する研究



## アピールポイント

暴力を受けている女性や子ども等、いかなる状況にある母子が支援を求めやすい助産師、看護師のケアや支援方法の検討、母子の心身の回復を促すケアシステムを構築する研究に取り組んでいきたいと思っています。